

令和4年7月1日
広島県立福山少年自然の家

新型コロナウイルス感染症への対応について（お願い）

当施設は様々な団体が利用します。御利用に当たっては、ガイドラインに沿って新型コロナウイルス感染予防策を講じ、お互いが気持ちよく利用できるように活動場所や時間を適切に設定し、活動してください。

なお、本ガイドラインは、今後の社会的状況や国、県の方針を踏まえ、適宜更新します。状況により、急な利用中止や変更等をお願いする場合がありますので御理解ください。

【施設利用のガイドライン】

I 入所時のお願い

- 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方については、来所を御遠慮ください。
- 必ず利用者全員の体温を測り、発熱がある場合は、御利用をお控えください。
- 入所する際は、必ずマスクを着用してください。
- 入所時に、スタッフによるオリエンテーションで利用上の注意事項を説明します。
- 入所時に、利用者名簿（利用者全員の名前、検温状況及び発熱の有無）を提出してください。（様式はホームページからダウンロードできます。）
- 入所時に消毒スプレー、雑巾を貸し出します。研修室・宿泊室等の使用後のスイッチ、ドアノブ等、よく触れる箇所の消毒作業に御協力ください。

II 入所後のお願い

1 体調管理

- 連絡責任者は、必ず朝夕全員の検温と健康観察の結果を利用者名簿に記入し、朝は7時20分、夕方は19時までに事務室へ提出してください。（※検温器を御持参ください。）
- 利用期間中のこまめな「手洗い」、「消毒」、「マスク着用」並びに「咳エチケット」の徹底をお願いします。
- 活動中、発熱や体調不良などの体調不良者が出た場合は、速やかに事務室までお知らせください。また、該当者が速やかに帰宅できるようにするなど、団体での御対応をお願いします。

2 食事

- 食堂での食事提供は、一度に利用できる人数を140人程度に制限し、利用人数が多い場合は時間差で利用していただくよう調整します。
- 人数が多い場合はパーティションを置き、向かい合わせに座ります。
- 食事の時は、座席を広くとり、同一方向で座り、できるだけ会話を控えてください。

3 宿泊

- 宿泊室は定員の半数程度に制限していますので、次の宿泊人数の目安を参考に割り振りを行ってください。

※宿泊人数の目安

◇宿泊棟 1階 (和室)	部屋名	さくら, すぎ, かし, まつの場合	各 5名
◇宿泊棟 1階 (和室)	部屋名	リーダー室 1, リーダー室 2の場合	各 2名
◇宿泊棟 2階 (洋室)	部屋名	うぐいす, きじ, ひばり, せきれいの場合	各 8名
◇宿泊棟 2階 (洋室)	部屋名	ほととぎす 1, ほととぎす 2の場合	各 4名
◇三角棟 1, 2 (洋室) の場合			各 40名
			計 144名

注) 各部屋の床面素材は、宿泊棟(ほととぎす以外は畳), ほととぎす(カーペット), 三角棟(ビニル及びポリエステル)です。

4 入浴

- 入浴は、混雑による 3密を避けるため、浴室は10人までの人数制限を行います。これに伴い、入浴時間の調整を行います。
- 宿泊室内は、窓の開閉や空調設備を活用により、十分な換気を行ってください。

5 研修

全ての研修プログラムで次の点に留意して活動を計画してください。

- 研修時や集合する場合は、前後左右の人との間隔を 1 m以上空ける等、濃厚接触(対面、マスクなし、1メートル未満の距離)を回避するよう配慮してください。
- 屋外での活動は、できるだけ少人数になるようグループの編成を行ってください。各活動プログラムによって対応策が異なります。事前の打ち合わせ等をスタッフと行ってください。
- 説明及び指示は必要最低限に短時間で行い、活動時間が 1 時間を超える場合は、10 分程度の休憩をとり、換気と手指消毒をしてください。
- 研修室等は、密集状況をさけるために、分散して部屋を割り振ります。

※活動場所人数の目安

◇大研修室 80名	◇中研修室 20名	◇小研修室 15名
◇体育館 150名	◇藤棚 40名	
◇体育館裏炊さん場 150名	◇第 1・2 炊さん場 25名	
◇スポーツ広場 150名	◇レクリエーション広場 80名	◇わんぱく広場 150名
◇友情の広場 150名		

[各研修プログラムの対応策]

研修プログラム名	対 応 策
SAFプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム全体は150分程度（定員は40名程度）とし、1活動を30分程度行った後、休憩をとる。 ・手を繋いだり、密着したりする活動はなるべく控える。肌がふれる活動をして、その都度休憩をとり、手洗いと手指アルコール消毒をする。 ・プログラム終了後は、手洗い・手指アルコール消毒をする。
歩く活動	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数を150名程度とする。スタート時間の間隔を3分以上空ける。 ・順コースと逆コースの2つに分けることで分散する。 ・ゼッケンとマップ以外の道具の貸し借りや受け渡し、個人以外の物品の使用は不可とする。
野外炊さん	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限をし、会場を分散するなど工夫して実施する。 ・活動中はスタッフがついて指導し、準備・作業・出来上がりまで3密にならないように指導を徹底する。 ・マスク、ビニール手袋、はし、スプーン、消毒液（予備）を団体が持参する。 ・各自で使用する食器等は、各々で洗う。 ・器具は、複数で使用しない。配膳を交代する場合は、必ず手洗い・手指アルコール消毒をする。使用後の調理器具の消毒も十分に行う。 ・かまどは、1班につき1つのかまどに集約する。
作る活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限し、会場を分散するなど工夫して実施する。 ・道具の貸し借りや受け渡しの際は、必ず消毒してから使用する。 ・道具やマジック、消毒液（予備）を団体が持参する。
積み木、ドミノ	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限し、会場を分散するなど工夫して実施する。 ・消毒スプレーを団体、家族毎に貸し出し、手指アルコール消毒をする。 ・個人の作品を中心に作成する。
キャンプファイヤー キャンドルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・発声を含むゲーム、ダンス、スタント等は、原則、マスクを着用する。 ・1m以上の間隔を取り、身体接触を含むゲーム等は、原則不可とする。
ボルダリング	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数を10名程度とする。 ・ボルダリングの消毒は、消毒スプレーを貸し出し、使用前（毎プレイごと）の手指アルコール消毒をする。 ・待機中は、ソーシャルディスタンスを徹底する。
アスレチック スポーツ等	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場とわんぱく広場の利用は、人数制限を行う。 ・消毒スプレーを団体、家族毎に貸し出し、手指アルコール消毒をする。

テニス、遊具など	<ul style="list-style-type: none"> ・物品貸し出しはその都度、スタッフが行う。複数団体利用の場合は、団体ごと一括して貸し出し、他団体と物品が混ざらないようにする。 ・消毒スプレーを団体、家族毎に貸し出し、手指アルコール消毒をする。
----------	--

※ 上記以外の研修プログラムの実施は、事前にご相談ください。

6 その他

- 2団体以上での朝のつどい、夕べのつどいは当面の間、中止します。尚、1団体のみ場合は自主的に実施可能です。
- 同一日の利用団体が多数にならないように調整をします。
- 御利用中はスタッフの指示に従ってください。

III 退所後のお願い

退所後にコロナ感染者が出た場合は速やかに福山少年自然の家に御連絡ください。

※ 連絡先：福山少年自然の家事務室（084-935-7166）